

## 延長保育に関する論点整理メモ

運営に関する総合的な見直し、現状の公立保育園の評価を行う中で、現在市の方で検討している延長保育に関する論点整理を行う。

### 1. 現時点での市当局の対応方針

都内の他自治体は比較的長時間で運営をしており、就労形態の多様化に合わせ、20 時まで保育時間を延長する方向で検討中

### 2. これまでの経緯

#### ①のびゆく子どもプラン小金井

「ファミリーサポート事業や NPO との連携を図りながら延長保育の再延長や夜間保育、日曜日や祝日などの休日の保育事業を検討」(目標値: 休日保育、長時間(延長)保育は平成 24 年度までに検討(平成 23 年度事業評価報告書より)。17 年 8 月策定時は平成 21 年度までに検討となっていた。)

#### ②五園連からの要望

保育士の確保及び運用面での受け入れ態勢の強化を前提に毎年拡充の要望をしている。市からは総合的な見直しの中で早期に結論を出していくとの回答あり。(資料 11)

アンケート: 20 時まで 35 人/193 人(22 の選択肢のうち上位 5 つを選択、10 位)。

20 時以降(夜間保育)13 人 17 位

(cf: 19 時までの一時利用 51 人 7 位)

#### ③子ども子育て会議ニーズ調査

帰宅時間: 母 546 のうち 19 時 24.2% 20 時 7.9%

父: 1152 のうち 19 時 11.8% 20 時 16.9%

### 3. 延長保育を検討するうえでの論点

#### ①子どもに対する影響について(子どもの最大利益⇔親の就労支援)

・長時間保育への懸念。(体調、安全面など)。

頑張って帰ることが子どもの利益=親の喜びとなる。

⇔就労形態の多様化、仕事をせざるを得ない人への支援

キャリアを積みたい人(親がストレスなく働くこと=子どもの利益にもなる。)

#### ②体制面

##### a. 保育士

例)朝パートを 1 時間延長+保育士(担任等)11 時 15 分始業

(ほぼ昼食前の保育にはかかわれない。→保育活動への影響)

b.夕食の用意

調理業務 17時→18時へ

③費用対効果

a.どの程度のコストか

b.ニーズはどの程度か→(量、内容) 上記2参照

c.他に代替手段はないか(公立保育園で対応することがベストか)

上記①～③を踏まえた、公立保育園の役割とは？

以上